会　議　結　果

1　会議等名	第３回伊豆の国市地域公共交通会議
2　開催日時	平成 24 年２月８日（水）14 時 00 分～15 時 10 分
3　開催場所	伊豆の国市あやめ会館３階　多目的ホール
4　出席者	出席委員 13 名 欠席委員４名 （寺山委員、山本委員、土屋（充）委員、平野委員） 代理出席２名 　国交省中部運輸局静岡運輸支局　小松田氏（村上委員代理） 　県交通政策課　小林氏（池谷委員代理） 随行者 　伊豆箱根バス㈱　阿部氏 事務局 　伊豆の国市政策企画課　菊地課長、植松、塩谷
5　協議事項	**【報告事項】** **（１）平成 23 年度実車実験バスの運行結果について** 　事務局より、平成 23 年度実車実験バスの運行結果及び実験期間終了後の方針・運行案について、資料№1、追加資料№1、追加資料№2 により報告。 **委員**： 　平均乗車人数 1.0 未満の便の運行や、2 便間の中間の運行等、運行案には評価基準とは異なる考え方が含まれているが？ **事務局**： 　評価結果どおり運行した場合、利用者のいないバスが増えてしまうことは適当でないため、このような運行案とした。便を集約することで利用の状況が変わってしまうことも考えられるが、その場合は今後の見直しの中で変更していきたい。 **委員**： 　2 月 2 日の江間地区説明会では継続運行するとの説明があり参加した人は喜んでいた。運行後も見直しは行うのか？ **事務局**： 　利用の少ないバスを運行することは適当ではないので今後も見直しを行っていきたい。 **（２）地域住民が主体となった交通サービスへの取組について** 　事務局より、地域住民が主体となった交通サービスについて検討開始した、立花台区の現況等について、資料№2、別添 1～4 により報告。

	会長： 立花台区をはじめ地域が主体となった交通サービスへの取組には、市として積極的に推進していきたい。立花台区の取組は先進的な取組事例の一つとし、今後はこのような取組を進めていきたい。 **委員**： 交通空白地域に走らせるための取組としてこのような取組は良いことだと思う。この地区には坂道が多いとのことなので、バリアフリー対応にも充分な準備が必要。 **委員**： 狭い坂道が多い地区なので、バス停の設置など細かな問題も含め、バスを運行することは簡単ではないだろう。 **委員**： 大きなバスの運行は難しいので、運行する車両はジャンボタクシーくらいの大きさになるだろう。バス事業者の運行バス事業者、タクシー事業者の両方を含めて考えてほしい。 **委員**： 立花台区に隣接する地区も含めて運行すれば利用者も増加するのではないか？今後は隣接する地区も含めて検討してはどうか？ **会長**： 今後は効率の良い事業展開を図るためにも、現在運行中のバスの見直しが必要だと考えている。また、高齢社会の中でおとしよりの足の確保は重要な問題であり、今後も積極的に取り組んでいきたい。地域によるコミュニティバスも利活用できればと考えているので今後もご支援・ご協力をお願いしたい。
6　懸案事項	特になし